

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 自然の博物館
 担当名: 総務担当
 内線:

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P52	自然の博物館管理運営費			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	自然と川の博物館費	
事業期間	昭和56年度～	根拠法令	博物館法 埼玉県立自然と川の博物館条例			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4
						分野施策	0803 文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-7
1 事業概要			5 事業説明						
埼玉県民の自然(生物、地質等)への興味や関心を高め、望ましい自然感、郷土愛を育む。また、郷土の多様な自然とその生いたちに関する資料を後世に残し、博物館の基礎的な価値を高める。 そのため、施設・設備等を適正に維持管理し、自然資料の調査、収集、保存、展示、教育普及を実施する。			(1) 事業内容 ア 展示 展示の一部改修、展示に関連するパンフレット等印刷 4,876千円 イ 教育普及 観察会等の旅費・消耗品、事業案内・研究報告等の作成 2,318千円 (2) 事業計画 ア 展示 特別展(「貝の世界」年1回、10月から2月まで)、企画展(「羽根」ほか、年4回)の実施 パネル展の実施(年4回)、常設展示の拡充及び維持管理 イ 教育普及 観察会(7回)・自然講座(7回)の実施、学校・社会教育関係団体等への学習支援 (3) 事業効果 ・利用者数 令和元年度 103,656人(うち入館者数 85,375人) 令和2年度 47,459人(うち入館者数 46,713人) 令和3年度 80,038人(うち入館者数 76,597人) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・自然系博物館に興味のある県民を活用し、資料整理、展示解説ボランティア制度を設置する。 ・長瀬町観光協会とタイアップした紅葉ライトアップ等、他団体と連携したイベントを実施する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細目)社会教育施設費 (積算内容)博物館費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×19人=180,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,936	財産収入	△439	諸収入	△110			△2,387	7,194
現計額	10,130		1,482		194			8,454	

事業内訳書

事業名	自然の博物館管理運営費		
単位事業名	展示	予算額	△ 1,671千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	△439	—	自然の博物館 図録・グッズ
一般財源	△1,232	—	
合計	△1,671	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△19	—	執行留保による普通旅費の減
需用費	△1,520	—	執行留保等による消耗品、印刷代の減
備品購入費	△132	—	契約差金が生じたことによる備品購入費の減
合計	△1,671	—	

単位事業名	教育普及	予算額	△ 1,265千円
-------	------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	△110	—	自然と川の博物館教育普及活動参加費
一般財源	△1,155	—	
合計	△1,265	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,130	—	執行留保等による消耗品、印刷代の減
役務費	△135	—	執行留保による郵送料の減
合計	△1,265	—	